

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】⑬【地域づくり】 地域の人材を積極的に活用して地域の歴史や文化について学習し、地域のよさに気づき、温かいつながりのある社会を願いながら地域づくりにかかわろうとする心を育てる。	教育課程全般

【テーマ】「ふるさと学習～地域との交流～」

【対象】 全学年

【ねらい】

学校の特色を生かしながら、学校教育活動全体に復興教育を位置付けて展開し、郷土を愛し将来の郷土を支える人材を育成する。

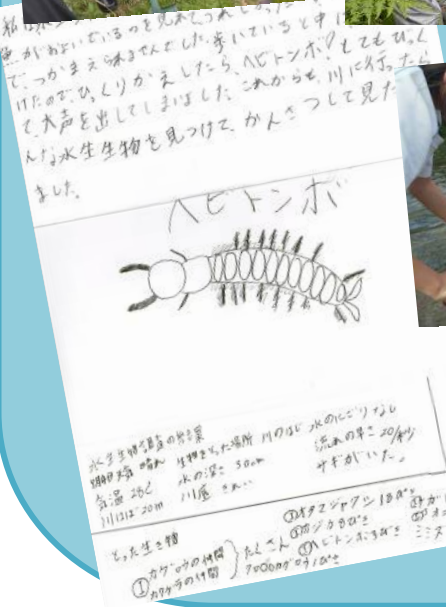
【実践の概要】

自然保護活動、郷土芸能「沢内甚句」の伝承活動、地域の文化や偉人「深澤晟雄」についての学習を復興教育の視点から位置付け取り組む。

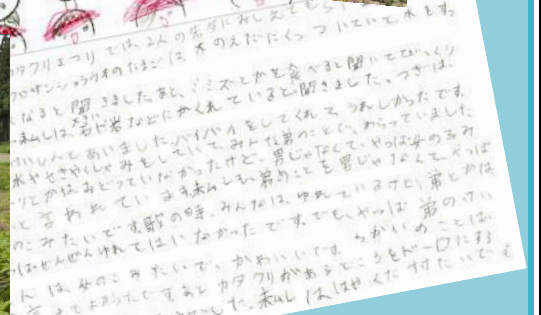
【実践の詳細】

## 自然保護活動

- 5月10日安ヶ沢カタクリ祭りに参加・自然観察
- 6月12日カタクリの救出（移植活動）
- 9月4日和賀川水生生物調査活動
- 10月9日森林学習



沢内小自然愛護少年団誓いの言葉



**カタクリ開花 西和賀にも春の訪れ 雪解けの遅さで開花大幅に遅れる**

今年、初日に行われるオープニングセレモニーは開花予想にあわせ10日に行われました。あいにく、「主役」のカタクリはまだまだつぼみの状態でしたが、地区民をはじめ、沢内小学校児童でつくる沢内自然愛護少年団、川舟保育所園児など約100人が参加。高橋委員長は「これまで無かった異常な低温などでもカタクリや草花や一本桜はまだ開花はなく、例年より10日ほど遅れている。昨年の例によりセレモニーを計画したが、予想がずれてしまったのは残念」とあいさつし、異常気象による開花の遅れを悔やんでいました。

しかし式では、沢内自然愛護少年団の代表として参加した沢内小学校3年生児童20人が「私たちの町のカタクリを、かけがえのないふるさととすば

**安ヶ沢カタクリまつり**

5月5日から14日までに期日を変更し、川舟地区の安ヶ沢カタクリ群生地で16回目となるカタクリまつりが行われました。安ヶ沢のカタクリまつりは、地元民有志で構成する実行委員会（高橋松栄委員長）の主催で毎年行われています。

今年、雪解けの遅さのほか、大型連休はあいにくの雨に見舞われ、町の花「カタクリ」の開花も遅れ気味となりました。例年であれば咲いているはずのカタクリが姿を見せず、各群生地では残念の声も聞かれました。

また、町内3会場で開催した「しわがカタクリまつり」も日程を一部変更して行われました。



# 沢内甚句



わたしが学習発表会でがんばったことは沢内甚句です。最初はなかなか上手にできなかったのですが、しょうけんめい練習しました。本番では、きちんとできました。ど集中したら、上手にできました。お家の人には、「よくがんばったね。」と言われたのでうれしかったです。わたしは、今から来年の学習発表会を楽しみにしています。四年生になつてるので下級生にいいところを見せられるようにがんばろうと思っています。

- 5月16日踊り練習
- 5月20日～太鼓・歌練習
- 5月28日PTAよる練習
- 6月1日運動会で家族と一緒に踊る。
- 10月26日学習発表会で発表
- 11月1日小中連合音楽会で発表



## 地域の文化・偉人学習

8月22日 ふるさと朝会  
「深澤晟雄」について

7月10日 音読朝会  
「命と健康を守る」練習



- 10月27日学習発表会  
全校暗唱「命と健康を守る」
- 3・4年「ふるさとから生まれる僕たちの夢」
- 5年生 ～大槌町の民話～「弁天島の魔物」
- 6年生 「命を守る」～生命村長深澤晟雄物語～

命と健康を守る  
深澤 晟雄  
人間は、みな平等なものです。人間に格差がついてはなりません。ところが、貧乏のために人間に格差がついているのが現実です。  
わたしは、これをゆるすことができない。しかし、この貧乏解決は、沢内村だけではどうにもすることができません。  
人間を尊重するということ、人間の生命と健康を尊重することにはじまると、わたしは確信します。



### 保護者・地域の方の感想

- ☆所々に沢内の伝統や歴史が取り入れられていて、素晴らしいことだなあと感動した。特に、6年生の「命を守る」は、嫁いだ者にとってとても勉強になった。
- ☆故郷を大切に思う気持ちが伝わってきて非常に内容が濃かった。
- ☆統合から3年、全校児童による音読は、毎日取り組んだ成果が力強く表現されていた。また、地元沢内をテーマに学習した成果が発表されていて“感動”した。



深澤晟雄の会ニュース71号  
(平成25年11月15日)

### 【まとめ】

- ・児童が地域の良さに気付き、地域や地域の人々に対する愛着を高め、地域づくりにかかわろうとする姿が見られた。また、学校と地域との関係をより深めることができた。